



# 補助金一覧/活用ガイド

freee Books



# はじめに

開業したら、気になるのは補助金や助成金の存在です。  
どんな補助金・助成金があるのか？どうすれば利用できるのか？  
そもそも自分の事業は利用対象？  
疑問だらけでどうすればいいのか分からないという方は多いかも。  
このガイドでは補助金・助成金を利用する第一歩として、  
それぞれの違いから、代表的な補助金と活用事例までをご紹介します。  
まずは補助金と助成金の仕組みを理解して、  
あなたが利用できるものを探してみましよう。



# Index

**1**

補助金と助成金の違い

**2**

全国で使える代表的な補助金

**3**

補助金の有効な活用事例

最後に～ご相談窓口のご案内～

# 1

## 補助金と助成金の違い

そもそも補助金と助成金には、どのような違いがあるのでしょうか？  
それぞれの役割や管轄、利用対象など、実はかなり違いがあります。



### 補助金

- 開業前後に使えるものもあり
- 国・自治体などの管轄で種類も豊富
- 応募できるタイミングが限られまめなチェックが大事



### 助成金

- 開業前後に使えるものはほぼ無い
- 厚労省管轄で、雇に関わる助成がほとんど
- 基本的に通年通じて応募できる



スタートアップや  
個人事業主でもOK！



従業員を抱える  
大きめの企業向け

# 2

## 全国で使える代表的な補助金一覧

開業前後に使える補助金ですが、どんな種類があるのでしょうか。

代表的な補助金・給付金は以下の通りです。

次ページより詳細を紹介します。

※2022年11月1日時点での情報です。詳細は各補助金HPを参照ください。

### 従来からある補助金

販路開拓したい事業者の方に

**小規模事業者持続化補助金**

ITを活用したい事業者の方に

**IT導入補助金**

生産性向上に取り組む事業者の方に

**ものづくり補助金**

### コロナ禍で増設された補助金・給付金

コロナ禍でお困りの事業者の方に

**事業継承・引き継ぎ補助金**

**事業再構築補助金**

事業開始  
1~2年向け

## 小規模事業者持続化補助金

一般型

小規模事業者が「販路開拓」や「生産性向上」に取り組む際の費用の一部を補助する制度です。

こんな時に  
使える！

商品の宣伝

HP開設

展示会出店

### 対象者

常時使用する従業員が20人以下(商業・サービス業宿泊業・娯楽業を除く)の場合は5人以下)の法人・個人事業主

### 補助対象経費

- |           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| ① 機械装置等費  | ⑥ 資料購入費 | ⑩ 専門家旅費 |
| ② 広報費     | ⑦ 雑役務費  | ⑪ 設備処分費 |
| ③ 展示会等出展費 | ⑧ 借料    | ⑫ 委託費   |
| ④ 旅費      | ⑨ 専門家謝金 | ⑬ 外注費   |
| ⑤ 開発費     |         |         |

### 補助率

補助対象経費の3分の2以内

### 補助上限額

50万円

公式サイト <https://r3.jizokukahojokin.info/>

※2022年11月1日時点での情報です。詳細は公式サイトを参照ください。

事業開始  
前後向け

## IT導入補助金

中小企業・小規模事業者等が自社の課題やニーズに合った IT ツール(ソフトウェア、サービス等※)を導入する経費の一部を補助することで、事業者の業務効率化・売上アップをサポートする制度です。

※採択された IT 導入支援事業者が提供し、かつ、あらかじめ事務局に登録された IT ツールのみが対象となります。

こんな時に  
使える！

ITで経営を  
見える化

ITで業務を  
効率化

ITで  
働き方改革

### 対象者

日本国内で事業を営む中小企業・小規模事業者等

### 補助対象経費

- ①ソフトウェア費
- ②オプション費
- ③役務費

### 補助率

補助対象経費の2分の1以内

### 補助下限・上限額

A類型の場合: 30万円～150万円未満

B類型の場合: 150万円～450万円以下

公式サイト <https://www.it-hojo.jp/>

※2022年11月1日時点での情報です。詳細は公式サイトを参照ください。

事業開始  
前後向け

## ものづくり補助金

一般型

グローバル型

ものづくりやサービスの新事業を創出するため、革新的な設備投資やサービス・試作品開発などをサポートする補助金です。

こんな時に  
使える！

新事業へ  
チャレンジ

生産ラインの  
増強

サービスの質を  
向上

### 対象者(一般型の場合)

以下の要件を満たす事業計画(3~5年)を策定し、実施する中小企業・小規模事業者等であること

- ① 付加価値額の年率 +3%以上向上
- ② 給与支給総額の年率 +1.5%以上向上
- ③ 事業場内最低賃金を地域別最低賃金 +30円以上向上

### 補助対象経費

- ① 機械装置・システム構築費
- ② 技術導入費
- ③ 専門家経費
- ④ 運搬費
- ⑤ クラウドサービス利用費
- ⑥ 原材料費
- ⑦ 外注費
- ⑧ 知的財産権等関連経費

### 補助率

中小企業: 補助対象経費の2分の1  
小規模事業者等: 補助対象経費の3分の2

### 補助上限額

750万円~1,250万円(申請枠により異なる)

事業開始  
前後向け

## ものづくり補助金

一般型

グローバル型

### 対象者(グローバル型の場合)

一般型の要件に加え、以下いずれかの類型に該当する必要があります

- ①海外直接投資
- ②海外市場開拓
- ③インバウンド市場開拓
- ④海外事業者との共同事業

### 補助対象経費

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ①機械装置・システム構築費 | ⑥原材料費       |
| ②技術導入費        | ⑦外注費        |
| ③専門家経費        | ⑧知的財産権等関連経費 |
| ④運搬費          | ⑨海外旅費       |
| ⑤クラウドサービス利用費  |             |

### 補助率

中小企業: 補助対象経費の2分の1  
小規模事業者等: 補助対象経費の3分の2

### 補助上限額

1,000万円～3,000万円

公式サイト <https://portal.monodukuri-hojo.jp/denshi.html>

※2022年11月1日時点での情報です。詳細は公式サイトを参照ください。

事業開始  
1～2年向け

## 事業継承・引継ぎ補助金

創業支援型

経営者交代型

M&A型

事業承継やM&Aを契機として経営革新等の取り組みを行う中小企業者等に対して、その取り組みにかかる経費の一部が補助される制度です。

こんな時に  
使える！

経営者交代を機に  
新たなサービスを行う

後継者不在の事業を引き継ぎ  
新たなに同事業を始める

### 対象者

日本国内に拠点を有する中小企業者等で、事業承継が発生し当該事業承継を機に経営革新等の取り組みを行う者(※別途要件があります)

### 補助対象経費

#### 事業費

- ①人件費
- ②店舗等借入費
- ③設備費
- ④原材料費

- ⑤産業財産権等関連経費
- ⑥謝金
- ⑦旅費
- ⑧マーケティング調査費

- ⑨広報費
- ⑩会場借料費
- ⑪外注費
- ⑫委託費

#### 廃業費

- ①廃業登記費
- ②在庫処分費
- ③解体費
- ④原状回復費
- ⑤移転・移設費用

### 補助率

補助対象経費の3分の2以内

### 補助上限額等

100万円～800万円以内等(※要件によって異なります)

公式サイト <https://ish.go.jp/r4/>

※2022年11月1日時点での情報です。詳細は公式サイトを参照ください。

事業開始  
1～2年向け

## 事業再構築補助金

新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少等に苦しむ中小企業等が、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するため思い切った事業再構築(新分野展開・事業転換・業種転換・業態転換・事業再編)の取り組みを行う際の費用の一部を補助する制度です。

こんな時に  
使える!

既存サービスのノウハウを活かして新サービスを開始

### 対象者

日本国内に本社を有する中小企業者等及び中堅企業等※別途要件があります)

### 補助対象経費

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| ①建物費                       | ⑥クラウドサービス利用費 |
| ②機械装置・システム構築費<br>(リース料を含む) | ⑦外注費         |
| ③技術導入費                     | ⑧知的財産権等関連経費  |
| ④専門家経費                     | ⑨広告宣伝・販売促進費  |
| ⑤運搬費                       | ⑩研修費         |

### 補助率

中小企業者等: 補助対象経費の3分の2(6,000万円を超える部分は2分の1)

中堅企業等: 補助対象経費の2分の1(4,000万円を超える部分は3分の1)

### 補助上限額等

従業員数20人以下: 100万円～4,000万円

従業員数21～50人: 100万円～6,000万円

従業員数51人以上: 100万円～8,000万円

その他、申請枠により異なる

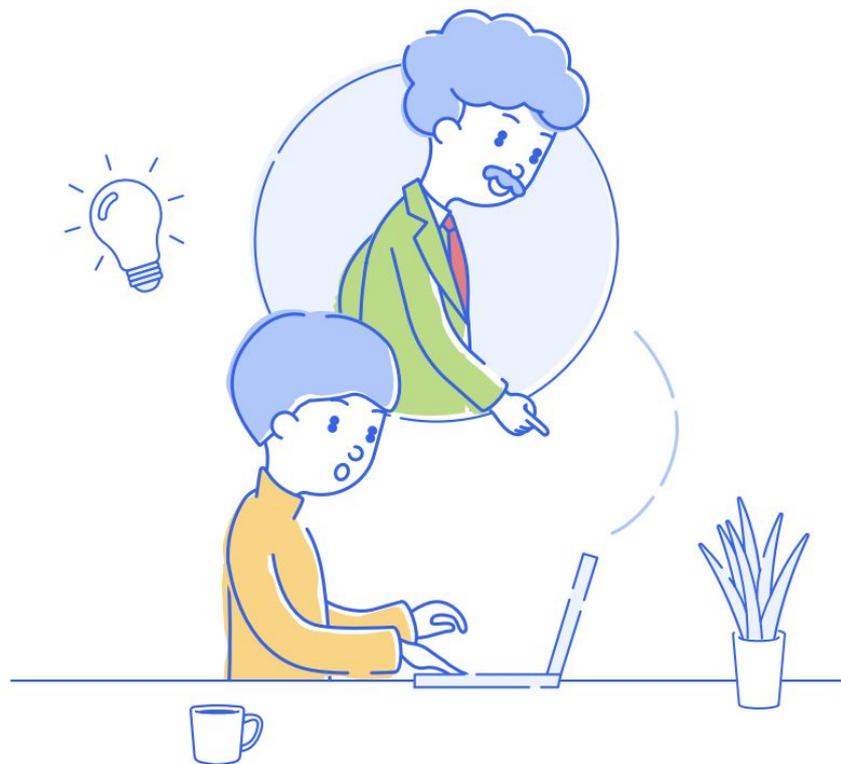
公式サイト <https://jigyousaikouchiku.go.jp/>

※2022年11月1日時点での情報です。詳細は公式サイトを参照ください。

## 補助金は他にもいろいろある

紹介した5つの代表的な補助金・給付金の他にも、**小規模事業者向けの補助金は様々な種類があります。**

国が実施する支援制度や、お住まいの地方自治体が実施する補助金制度をうまく活用して、**事業の販路開拓、生産性向上、人材不足の解消**などに役立てましょう。



# 3

## 補助金の有効な活用事例

補助金を実際に活用し、事業の役に立てている事例を紹介します。  
代表的な3つの補助金の有効な活用事例を確認しましょう。



宿泊業・娯楽業

### 【事例①】小規模事業者持続化補助金

コロナ禍で外国人観光客が大幅に減少し、経営状態が厳しい状態に。補助金を活用し、英語版、中国語版など複数言語のパンフレットを作成して観光施設に設置したところ、外国人観光客から問い合わせが入り、売上回復につながっている。



情報通信業

### 【事例②】IT導入補助金

複数の受発注システムの事務処理作業が属人化して非効率な状態に。補助金を活用し、定型業務を簡単に自動化できるRPAツールを導入したところ、入力時間の短縮やミスの軽減につながり、月の残業時間を約25時間削減することに成功した。



食品加工業

### 【事例③】ものづくり補助金

希少性の高いフルーツを使ったジャムを、地域の観光振興につなげるための特産品として商品化することに。ジャム製造に必要な機械設備を補助金を活用して導入した。超低糖度ジャムの開発に成功し、様々な賞を受賞したりホテルの朝食に採用されたり、地域活性化の一役を買った。

# 最後に～ご相談窓口のご案内～

会社設立前後から1～2年の事業者でも、活用できる補助金はいくつもあります。しかし、実際に自分に合った補助金はどれか分からないと感じる方も多いかもかもしれません。

freeでは、補助金など含めた起業に関するご相談を無料で受け付けておりますので、下記よりお気軽にお問合せください。

<https://www.freee.co.jp/launch/kigyo-dandori/>



## 会社設立・運営に役立つサービスのご紹介

**【free会社設立】**これから会社設立をするならこちら

<https://www.freee.co.jp/launch/>

**【free会計】**効率的な会計はこちら

<https://www.freee.co.jp/accounting/small-business/>

**【free税理士検索】**要望に沿った税理士の紹介はこちら

<https://advisors-freee.jp/>

